

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年09月29日

計画の名称	海老名市都市公園における安心安全の創出（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	海老名市												
計画の目標	近年、市民の生活意識向上により寄せられる要望も多様化し、課題対応への明確化、迅速化及び透明化が求められている。このような中、日常生活に身近な公園について老朽化した遊具等の施設を計画的かつ適切に改築・更新することで、利用者の安全性や使用環境・快適性の向上を図り、安全・安心の都市環境の形成を目指す。 また、公園施設長寿命化計画を改定し、安全性の確保、予算の平準化及びライフサイクルコスト削減の取り組みを図り、公園施設の長寿命化を推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	170	A	170	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R6末
1	長寿命化計画に定める公園施設の改築・更新率を32%（R2当初）から58%（R6）に増加させる。 長寿命化計画に定める公園施設の改築・更新率を32%（R2当初）から58%（R6）に増加させる。 長寿命化計画に定める公園施設の改築・更新率32（%）＝改築・更新遊具数（89施設）／改築・更新対象遊具数（277施設）×100	32%	%	58%
2	長寿命化計画改定率を、0%（R5当初）から100%（R5末）に増加させる。 長寿命化計画改定率を、0%（R5当初）から100%（R5末）に増加させる。 長寿命化計画の改定率0（%）＝改定公園数（0公園）／改定対象公園数（58公園）×100	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	--------------------------	------------	--------------------------	------------	--------------------------	-----------	--------------------------

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	海老名市	直接	海老名市まちづくり部 都市施設公園課	—	—	海老名市都市公園安全・ 安心対策事業	公園施設長寿命化対策支援事業 遊具改築・更新（55施設）	海老名市	■	■	■	■	■	118		策定済
	A12-002	公園	一般	海老名市	直接	海老名市まちづくり部 都市施設公園課	—	—	海老名市都市公園安全・ 安心対策事業（5か年老朽）	公園施設長寿命化対策支援事業 遊具改築・更新（18施設）	海老名市	■	■				32		策定済
	A12-003	公園	一般	海老名市	直接	海老名市	—	—	海老名市公園施設長寿命化計画改定事業	公園長寿命化計画策定調査 長寿命化計画の改定	海老名市				■		20		策定済
											小計						170		
											合計						170		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04		
配分額 (a)	16	0	0		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	16	0	20		
前年度からの繰越額 (d)	0	16	0		
支払済額 (e)	0	16	20		
翌年度繰越額 (f)	16	0	0		
うち未契約繰越額 (g)	16	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	100	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	令和2年度第三次補正予算により対応したため				